

令和8年度 情報科

教科	情報	科目	情報実習	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	なし						
副教材等	Excel でまなぶプログラミング (実教出版)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・表計算ソフトや日本語ワープロソフトの扱いについてより実践的な内容を学びます。
- ・1年で学んだ基本的なプログラミングの技術を使い、オリジナルの作品を作成します。実習がメインとなりますので、失敗を恐れず積極的にチャレンジしてください。

2 学習の到達目標

- 【知識及び技能】**
 実用的な情報技術を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】**
 アルゴリズムとフローチャートを理解し、簡単なプログラムが作ることができる。
- 【学びに向かう力、人間性等】**
 資格試験等の目標にむけて努力を続けることができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> ・表計算ソフト、ワープロソフトについて基本的な知識と操作方法を身に着ける。 ・基本的なプログラミングの文法を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報に関する科学的な見方ができる。 ・問題解決のために学んだ知識・技能を活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報や情報社会に関心を持ち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとしている。
<p>上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</p>			

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	ワープロ	<ul style="list-style-type: none"> ・キーボードを利用した効率的な文字入力 ・文書作成の基本 	a: 実用的な速度で日本語入力ができる。 ワードプロソフトの基本操作ができる。 b: 目的に適した見栄えの良い文書を作成できる。 c: 向上心を持ち取り組んでいる。	実技テスト 実習課題	実技テスト 実習課題	観察 実習課題
	表計算	<ul style="list-style-type: none"> ・表計算の基本操作 ・表計算ソフトで各種関数を利用したデータ処理 	a: 基本的な関数を使える。 b: 目的に適したレイアウトの表を作成し、正しく計算できる。 c: より早く正確に完成させるよう工夫している。	実技テスト 実習課題	実技テスト 実習課題	観察 実習課題
2学期	プログラミング	<ul style="list-style-type: none"> ・アルゴリズムとフローチャート ・VBA を用いたプログラミングの基本 	a: フローチャートを読むことができる。プログラミング言語の基本的な文法を理解している。 b: 基礎的な内容のプログラムが書ける。 c: 積極的に取り組んでいる。	実技テスト 実習課題	実技テスト 実習課題	観察 実習課題
	表計算	<ul style="list-style-type: none"> ・実践的な表計算ソフトによるデータ処理と資料作成 	a: 示された課題に対して、正確な資料を現実的な速さで作成できる。 b: 目的に合わせて適切な表現方法を選ぶことができる。 c: 向上心を持って取り組んでいる。	実技テスト 実習課題	実技テスト 実習課題	観察 実習課題
3学期	まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習内容を総合的に振り返る課題の実践 	a: 基本的なことを理解している。 b: 適切な方法で処理できる。 c: より良い作品を作成するために工夫している。	実習課題	実習課題	観察 実習課題

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度